

## 長野県治水砂防協会犀川支部による 長岡市山古志地域の視察が行われました

10月3日(水)長野県治水砂防協会犀川支部の生坂村村長をはじめとする15名のみなさんが視察に参りました。場所は湯沢砂防事務所の管内である、新潟県中越沖地震で大きな被害があった長岡市山古志地域(旧山古志村)です。

まず、やまこし復興交流会館おらたるにて、地震直後から復旧までの説明を行い、その後、各被災箇所に行き、福田副所長が詳しい説明をしました。



地すべりによって川がせき止められてできた天然ダムから水を排水する作業の説明をする福田副所長

廃校になった小学校を通して行う作業に皆さん興味津々でした。

(写真中央:長野県治水砂防協会長の藤沢生坂村村長)

実際に東竹沢の地すべりが起きた現場ではあまりの広さに驚いていました。



水没した木籠地区では、ここが水没していたことが信じられないとおっしゃっていました。